



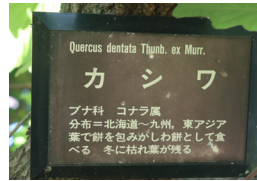
モノの豊かさから  
心の豊かさへの転換

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO<sub>2</sub>吸収：固定

# 三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル (キャンパス緑花・カシワ編)

知っていますか？

上浜キャンパスの三翠園\*では、柏餅のカシワの葉も観察できます。



## ■ キャンパス緑花

人と自然の調和・共生をめざし、地域に根差した緑あふれる環境先進大学としての**キャンパスづくり**を推進しています。



カシワの葉が使われるのは、カシワの葉に含まれるオイゲノールという成分が、餅の鮮度（保湿・乾燥防止）を保ち、殺菌作用によって餅を長持ちさせる働きをするからです。

## ■ 食品包装と環境負荷の軽減

石油化学製品が流通する以前には、食品包装には天然の竹や木や笹などの葉や紙といった植物由来の資源が利用されていました。

現在でも、桜餅や柏餅など**昔ながらの味を残す和の食品**には、四季折々の植物の葉が用いられています。5月の節句の時期に食べられてきた柏餅の餅を包む葉には地域性があり、東日本では柏の葉が利用されるのに対し、西日本では身近で入手しやすかったために、サルトリイバラの葉が利用されてきました。

上浜キャンパスが所在する津市近辺では、両方の柏餅が流通していることから、家庭で作られてきたサルトリイバラの葉を利用した餅を「いばら餅」と呼び、柏の葉を利用した柏餅と区別することもあります。



三重大学マスコットキャラクター ミールド

2050カーボンニュートラルに向けた取組計画

国立大学法人 三重大学  
地球環境センター  
施設部 2024年11月

